

能舞台利用時の注意事項

- 1 能舞台に上がる時は、舞台は神聖な場所であることから、必ず白足袋(綿)を着用してください。
- 2 能舞台に道具(三脚・照明機材・イスなど)を持ち込む場合には、必ず養生を行ってください。
※養生の方法については、係員の指示に従ってください。
- 3 皮脂が付着するため「柱」・「床」に手を触れないように注意してください。特に、鏡板に描かれている老松・若竹には絶対に触れたり、寄り掛からないでください。
※老松や若竹は「岩絵の具」(水性)で塗られていますので、触ると色が剥げる恐れがあります。
- 4 能舞台の正面の「階(きざはし)」(階段に見える部分)については、この部分を使つての舞台への上り、降り、或いは、そこに座るなどの写真撮影は出来ません。
- 5 舞台を囲む白洲(白い玉砂利が敷いてある部分)には、神聖な場所のため入らないでください。
- 6 能舞台前の石畳(中庭見所)は貸出施設です。利用される場合には、使用料金がかかります。
- 7 能舞台上での写真撮影で、模造刀などを使用する場合には、くれぐれも柱や床を傷つけないようにしてください。
- 8 舞台上で音を鳴らす場合には、事前にお知らせください。
- 9 能舞台は屋外施設のため、貸出当日の天候により利用できない場合がありますので、ご了承ください。
- 10 「橋掛かり」「揚幕」などや、「放送設備」「照明」などを利用される場合には、事前にお知らせください。
- 11 その他については、係員の指示に従ってください。

【能舞台は、貴重な財産であることから、決められたルールを守って使用して
くださるようお願いいたします】